



# ことしば

11月号



【チャレンジ目標】『にこにこあいさつ ふわふわ言葉 しっかり運動 いっぱい読書』



運動会『琴小ソーラン』

秋風に乗ってキンモクセイの甘い香りが校舎内に漂いわたしたちの心を落ち着かせてくれています。学校では、『新しい生活様式』に沿った様々な活動が始まっています。先日は、秋晴れのもと運動会を開催しました。これまで、参観日も未実施で、子ども達の学校での成長ぶりを見ていただく機会がなく、この運動会が初めての公開となりました。しかし今年度は、保護者・関係者ののみの観覧、低・中・高のブロック毎に時間を区切った分散型実施等、コロナウイルス感染症対策をとりながらの変則的な形を余儀なくされました。その中にあっても、子ども達はこれまでの練習の成果を存分に発揮し、たくさんの皆様方から「素晴らしい」「感動した」という有り難いお言葉をいただきました。また、PTA役員やおやじの会、交通安全協会琴芝分会の皆様には準備や当日の運営等のお手伝いをいただき、運動会終了後は、ご観覧の皆様にも自主的に片付けを手伝っていただいて、成功裏に終えることができました。心よりお礼申し上げます。

先週、1年生の畜産ふれあい体験と6年生の修学旅行を実施しました。今後は、5年生の宿泊学習をはじめとする様々な体験活動や参観日（兼、引き渡し訓練）、校内持久走、プログラミング教育公開授業などたくさんの教育活動を実施します。コロナ対策をとりながら『実りの秋』にふさわしい、充実した教育活動になるよう努めてまいりますので、引き続きご支援・ご協力をお願いいたします。



『畜産ふれあい体験』

## 【人事異動のお知らせ】

11月から、新しく2名の先生に、子ども達の教育活動を支援していただくことになりました。  
よろしくお願ひします。

教諭・専科 中野喜代枝（病休代替） 非常勤講師 井上 順子（学力向上）



## 校長のつぶやき



## たまには“ぼんやり”してみませんか!!



『“ぼんやり”して幸せになろう』。ある季刊紙を見ていたときに、ふと目についた記事のタイトルです。臨床心理士の緒方俊夫先生が執筆されたものです。その中に「“ぼんやり”は脳が休んでいるのではなく、大切な活動をしている」とありました。“ぼんやりするな”とはよく言われます（言います）が、なんと“ぼんやり”することも、実はとても大切なことです。秋の夜長に、たまには“ぼんやり”して幸せになりませんか。

“ぼんやり”的能として、次の5つが紹介されていました。  
① 情報が整理される… “ぼんやり”するときに視覚や聴覚から入ってきた膨大な情報が整理されます。多くの情報を取り入れても、“ぼんやり”しないと沢山の本がただ適当に積まれているようなもので、“ぼんやり”することでこれらが図書館の本のように整理され、必要なときにいつでも取り出せ意味のある情報になるそうです。  
② 記憶力がよくなる… “ぼんやり”している間に、短期記憶が、記憶の司令塔の海馬から記憶の倉庫の大脳皮質に送られ、長期記憶として定着していくそうです。  
③ “ぼんやり”しているとひらめく… アルキメデスは“ぼんやり”風呂に入っている時に、ニュートンは“ぼんやり”リシゴの木をながめている時に大発見をしました。大発見や大発明は“ぼんやり”している時にひらめくことが多いそうです。  
④ 仕事や勉強の効率がよくなる… 人の脳は同時に二つのことをやるようにできておらず、集中しきりでも疲れて効率が落ちてしまいます。時々“ぼんやり”タイムを入れることで、効率が上がるのです。  
⑤ 体調がよくなる… “ぼんやり”が習慣になると体の凝りがとれてリラックスしていき、食事や睡眠にも好影響を与えます。